

『高松市病院事業経営健全化計画（平成24年度～26年度）』の取組状況に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【平成24年度の評価】

平成25年11月15日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性および効率性の向上ならびに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直しおよび進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で3年目を迎える。

平成24年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回（7月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成24年3月に策定した経営健全化計画（24年度～26年度）においては、「生きる力を応援します」を市立病院の基本理念に定め、高松市民病院は、救急医療やがん医療などの提供による「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は、医療と福祉が一体となった「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は、「私のカルテ」の発行や健康教室の実施による「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として病院運営に取り組むこととしている。

初年度となる24年度には、同計画に掲げる指標（数値目標）を達成するため、PDCAサイクルマネジメントの考えに基づき、7月末、12月末、3月末時点の3回にわたり、各病院・診療所において、具体的取組状況の調査や、それに対する自己評価を行うなど、計画実現に向けた取り組みを進めた結果、平成24年度の高松市病院事業全体の経常収支が、平成17年度の近隣町との合併後、初の黒字となったことは、高く評価できる。

ただ、公立病院の果たすべき役割として重要な位置づけにある、「災害医療」および「感染症医療」について、その取り組みが必ずしも十分でないように見受けられることから、これらを喫緊の課題として捉え、市立病院が丸となって対処し、病院機能の拡充がさらに図られるよう期待する。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成24年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的な成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組みを進め、一定の成果が得られた、または計画期間内に、目標達成と同程度の具体的な成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組みが不十分、または取組みを進めたものの、具体的な成果が得られなかった。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組みができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は1項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は6項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は12項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は1項目で、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で35%となった。

近年その重要性が高まっている災害医療への取り組みや、感染症医療の充実等に不十分な点が見受けられる。

また、アメニティについても、物理的に見直しが困難であるものの、アクセスの改善などに取り組む余地がある。

しかしながら、「リーディングホスピタル」として、「7対1基準看護体制」の導入による医療の質の向上や、消防局救急隊員との意見交換会開催など、救急患者の積極的な受入れ、また、「地域医療連携だより」の隔月発刊や地域の医療機関への訪問、症例検討会の開催など、病診連携の推進による患者紹介率・逆紹介率の向上に取り組んでいること。さらには、給食調理業務の民間事業者への委託を開始するなど、効率的な医療の提供にも留意している。

こうした取組みの結果、13年ぶりの経常収支黒字を達成したことが高く評価できることから、総合評価を『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	1項目	5%
評価結果『○』とした項目	6項目	30%
評価結果『△』とした項目	12項目	60%
評価結果『×』とした項目	1項目	5%
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策		総括評価
取組項目(大分類)		
取組項目(小分類)		
1 医療の質の確保		
1 医療技術		
1	高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○
2	医師確保機能の強化	△
3	医師の安定確保に向けた条件整備	△
4	看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	△
5	スペシャリストの育成	○
6	医療安全	○
7	医療品質	△
8	災害医療	△
9	感染症医療	△
2 人間関係		
1	チーム医療体制の充実	△
2	患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
3	患者と病院の信頼関係の構築	△
3 アメニティ		
1	患者の視点に立ったサービスの提供	△
2	各種病院サービスにおける利便性の向上	×
3	施設環境の整備	△
4 地域社会		
1	地域医療連携の強化	◎
2 医療の透明性の確保		
1 情報の積極的な発信		
1	情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保		
1 効率化		
1	効率化	○
2 管理体制		
1	管理体制	△
3 一体化		
1	一体化	△
総合評価		○

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、16項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は7項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は6項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は3項目で、『順調である』『概ね順調である』と評価した割合が全体で81%となった。

限られた職員で取組む訪問看護・訪問リハ等の成果は想定以上で、また、栄養士による料理教室の開催や経営会議への地域住民の参加など、職員全員で地域を支える「地域まると医療」の実践に取り組まれていると評価できるものの、遅れている災害医療の取組みについて、塩江町地域という山間部特有の災害の発生も懸念されることから、早急な対応を強く求めたいとの委員総意を踏まえ、総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	7項目	43%
評価結果『○』とした項目	6項目	38%
評価結果『△』とした項目	0項目	0%
評価結果『×』とした項目	3項目	19%
合計	16項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域医療の推進	◎
2 医師確保機能の強化	◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備	◎
4 スペシャリストの育成	○
5 医療安全	◎
6 医療品質	○
7 災害医療	×
2 人間関係	
1 チーム医療体制の充実	○
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○
2 施設環境の整備	×
4 地域社会	
1 共に支え合う体制の整備	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	◎
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	×
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	◎
総合評価	○

③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は1項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は8項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は5項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は1項目で、『順調である』『概ね順調である』と評価した割合が全体で60%となった。

健康教室や出前講座の充実、「私のカルテ」の推進、わんコイン健診、経営会議への地域住民の参加など、住民参加型医療の実践に取り組まれていることから、全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

なお、取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

評価結果の内訳

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H24	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	1項目	7%
評価結果『○』とした項目	8項目	53%
評価結果『△』とした項目	5項目	33%
評価結果『×』とした項目	1項目	7%
合計	15項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	総括評価
取組項目(大分類)	
取組項目(小分類)	
1 医療の質の確保	
1 医療技術	
1 地域に密着した医療の提供	○
2 医師確保機能の強化	△
3 医師の安定確保に向けた条件整備	△
4 医療安全	△
5 医療品質	△
6 災害医療	×
2 人間関係	
1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	○
2 患者と診療所の信頼関係の構築	○
3 アメニティ	
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎
4 地域社会	
1 住民参加の医療	○
2 地域医療連携の強化	○
3 子供たちの健やかな成長への貢献	○
2 医療の透明性の確保	
1 情報の積極的な発信	
1 情報の積極的な発信	○
3 医療の効率性の確保	
1 効率化	
1 効率化	○
2 管理体制	
1 管理体制	
3 一体化	
1 一体化	△
総合評価	○